

令和5年度の事業計画書

令和5年4月1日から令和6年31日まで

法人名 特定非営利活動法人ブエンカミーノ

1 事業の方針

前年度は、新たな地域活動拠点、「地域交流フリースペースOKAZAKI」（岡崎ハウス）が正式オープンし、新たに、コミュニティカフェや地域食堂、こどもの居場所事業「こどもサードプレイスOKAZAKIキッズ」、農業ボランティアの会、乳幼児親子の居場所「ノンナのリビング」などの新しい活動を出発させる運びとなった。支援する若者や子どもだけでなく、活動に関わってくれている地域ボランティアさんたちが増えてきているが、彼らもまた当活動におけるステークホルダーであるという観点を忘れず、すべての人の居場所と生きがいに寄与できるよう事業内容をデザインしていくことに留意したい。

特に、こどもの居場所事業においては、事業実施における人手確保、人件費確保、活動内容の充実が早急の課題であることから、重点的に助成事業などを取り入れていくことを方針とする。

また昨年度に発足した地域の支援者による協議体「地域とつながるあの人net.亀山BASE」の活動拠点としての役割がより期待されるものであり、業種の垣根を越えた協力体制のもと、地域の困りごとを実際に解決へ結びつけるまでのモデルケースを達成し、地域の重層的支援体制強化へどう繋げていけるかを協議していきたく。

就労訓練事業

例年通り、共同生活・就労訓練・ワークキャンプ事業を通じた活動を行っていく。岡崎ハウスにおける農業ボランティアやコミュニティカフェ、こどもの居場所などにも積極的に若者を組み込んでいくことで、農業に限らない就労訓練の幅を広げていくと同時に、彼らがゆるやかに地域や支援者（団体）と繋がることのできる仕組みを精査していきたい。

共同生活支援事業

新型コロナウイルスの影響が落ち着いていることから、昨年につき、共同生活にも積極的に利用者を迎えることとする。コロナによるリモートワークや人との接触制限は特に一人暮らしの若者を精神的に追い詰め、離職や休職者が増えている。その後孤立することで状態は悪化し、抜け出すのが困難になるケースがみてとれる。本年度は、そういった離職者・休職者の孤立防止に向けてのメッセージを重点的に行う方針でいく。

農林業

安芸高田農場、亀山農場にて、引き続きキュウリ・ナスの育生、収穫を年間通して行う。未だもってJA関係に直接出荷することが出来ないため、関連団体アグリめぐみの里から農業受託する形で売り

上げから経費を差し引いた金額を受託金として受け取るものとする。居場所スペースにて、直接小売りする機会も増加傾向にあり、販売スペースを整えるなどさらに充実させていきたい。またワークキャンプや地域共生・まちづくり事業、こども居場所事業などで「農業体験」を行うための年間準備を行う。林業においては農閑期である冬季を中心に行い、昨年に引き続き薪生産・販売を進めていくものとする。

ワークキャンプ事業

昨年に引き続き、県内外からの若者に募集をかけるが、ワークキャンプ参加後にもインターンやボランティアなどで関わりを継続できるよう、本年度は特に近郊在住の若者への周知に注力したい。

下記の通りワークキャンプ実施を計画。

5月：GWワークキャンプ（4泊5日）

7月：収穫祭ワークキャンプ（2泊3日）

8月：ワークキャンプ（4泊5日）

10月：収穫祭ワークキャンプ（3泊4日）

3月：ワークキャンプ（4泊5日）、農業体験会

地域共生・まちづくり事業

地域における多世代交流、孤立予防のための居場所事業を実施する。通常の活動に加え、月に一度の地域食堂は特に地域多世代が多数集まる機会とし、季節に応じたイベントなどを都度盛り込んでいくものとする。また、昨年度に発足した「地域とつながるあの人net.亀山BASE」の活動拠点として、月に一度の定例会及び懇親会などを実施し、地域の重層的支援体制強化に取り組む。

（通常活動）

○フリースペースOPEN：月水金 10時～15時

○コミュニティカフェ岡崎キッチン：月水金 12時～15時

○農業ボランティアの会：月水金 10時半～12時

○地域とつながるあの人net.亀山BASE：毎月第3金 15時～16時半

（イベント予定）

4月：地域食堂

5月：地域食堂

6月：地域食堂

7月：夏の収穫祭、地域食堂

8月：地域食堂（夏祭り）

9月：地域食堂（月見コンサート）

10月：秋の収穫祭、地域食堂

11月：地域食堂

12月：地域食堂（もちつき）

1月：地域食堂

2月：地域食堂

3月：地域食堂（ひな祭り）

こども居場所事業

毎週月曜日に「こどもサードプレイス OKAZA キッズ」を実施する。不登校の小学生を対象に居場所とランチを提供。アート、自然体験、クッキングなどプログラムを毎回設定し、充実した活動を目指す。また、8月には、夏休み中の小学生の一日預かり「サマーキッズ」を実施し、連続4日間の自然体験プログラムを実施する。

相談・啓蒙事業

HP 相談フォームからのメール相談、対面カウンセリングなど、都度対応していくとともに、地域の民生委員協議会や子育て支援協議会などでの講演を行い、地域活動の理解に努めるものとする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 事業内容	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	本年度 (D)受益対象者の範囲 (E)人数（実数、のべ人数）	事業費の金額	昨年度 (D)受益対象者の範囲 (E)人数（実数、のべ人数）	事業費の金額
就労訓練事業 農業を通して就労に必要な体力や社会的スキルを身に付ける。	(A) 年中（週5日） (B) 安芸高田市八千代（農場）、安佐北区亀山（農場） (C) スタッフ4名 ボランティア 5名	(D) 広島市、及び全国の若者 (E) 実数30名、のべ200名	1,000,000	(D) 広島市、及び全国の概ね若者 (E) 実数27名のべ174名	1,000,000円
共同生活支援事業 シェアハウスにて共同生活をしながら、対人コミュニケーションや、生活スキルを身に付ける	(A) 年中（週7日） (B) 安佐北区亀山（シェアハウス） (C) スタッフ4名 ボランティア 1名	(D) 広島市、及び全国の若者 (E) 実数30名のべ763名	2,000,000	(D) 広島市、及び全国の概ね若者 (E) 実数17名のべ763名	2,000,000円
農林業 安芸高田、亀山の2農場にて農業及び林業を实践する	(A) 年中 (B) 安芸高田市上佐々井、安佐北区亀山 (C) スタッフ4名		500,000		500,000円

ワークキャンプ事業 全国からの若者を対象とし、短期合宿型の農業キャンプを行う。	(A) 年間5回 (B) 安佐北区亀山8丁目19-18、及び安芸高田市上佐々井 (C) スタッフ4名	(D) 広島市、及び全国の若者 (E) 実数 60 名のべ 300 名	1,000,000	(D) 広島市、及び全国の若者 (E) 実数 60 名のべ 246 名	370,400 円
地域共生・まちづくり事業 多世代交流・孤立予防を目的とするコミュニティスペース、地域交流フリースペース OKAZAKI の運営、及び地域の支援者協議会「亀山 BASE」の運営	(A) 年中（週5日） (B) 安佐北区亀山8丁目19-18 (C) スタッフ4名 ボランティア10名	(D) 地域、及び広島市在住の全ての年代 (E) 実数 350 名のべ 1200 名	400,000	(D) 地域、及び広島市在住の全ての年代 (E) 実数 120 名のべ 162 名	342,886 円
こども居場所事業 こどもサードプレイス OKAZA キッズの運営、サマーキッズなどの実施	(A) 年中（週1日） (B) 安佐北区亀山8丁目19-18 (C) スタッフ2名 ボランティア 10 名	(D) 地域、及び広島市在住の小学生 (E) 実数 60 名のべ 350 名	300,000	(D) 地域、及び広島市在住の小学生 (E) 実数 7 名のべ 70 名	200,000 円
相談・啓蒙事業 相談、カウンセリング、講演会など	(A) 年数回 (B) 広島市 (C) スタッフ 2 名	(D) 地域、及び広島市在住の全ての年代 (E) 実数 200 名のべ 200 名	0	(D) 地域、及び広島市在住の全ての年代 (E) 実数 200 名のべ 200 名	0 円

(2) その他の事業

実施予定なし